

厚生科学研究費補助金(政策科学推進研究事業)
分担研究報告書

例外的高額医療費となった PTCA 症例の検討

分担研究者 中西 成元

虎ノ門病院院長 秋山 洋

【研究要旨】

例外的高額例は 418 例中 38 例(9%)であった。例外的高額例では、複数回・複数病変の PTCA が多く、使用材料の増加による材料費の増加が入院費を増加させた。また、入院費が高額となる急性心筋梗塞例の比率が多く、その半数が合併症を伴い、その治療のために入院費が増加するものと推察した。定額支払方式では、複数回症例、複数標的病変症例、急性心筋梗塞症例の PTCA は、試行定額支払い方式の 175 万円では賄えず、別枠にするなど何らかの救済策を検討する必要がある。(刊行成果:例外的高額医療となった PTCA 症例の検討:参照)

20000005

以降のページは雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

「研究成果の刊行に関する一覧表」

Masao Chino , Narumoto Nakanishi ,
Takaaki Isshiki : the First Nation wide
Database for Cost Analysis of
Percutaneous Transluminal
Coronary Angioplasty (PTCA) in
Japan. Part 1; registry and basic
characteristics; Jpn J Interv Cardiol
2000,15 : 407-412

茅野 眞男 : 経皮的冠動脈形成術
技術料の原価分析 ; 6 施設共同研
究
Journal of Cardiology Vol.37 No.2

鈴木雅裕、茅野眞男、中西成元:『例
外的高額医療費となった PTCA 症例
の検討』日本心血管インターベンシ
ョン学会 2000, 15; 329-332